

厚生労働大臣賞に特別養護老人ホームときわ寮川辺園の下垣まち子さんが選ばされました。



利用者に優しく話しかける下垣さん

長年にわたり社会福祉の発展に功労した人をたたえる平成 23 年度厚生労働大臣表彰に県内（和歌山市を除く）では民生・児童委員ら5人、日高地方からは日高川町和佐の特別養護老人ホームときわ寮川辺園総括主任介護員の下垣まち子さん（58）が選ばれた。18 日に東京都千代田区の渋谷公会堂で開かれる全国福祉大会で表彰される。

昭和 57 年5月の川辺園開園と同時に寮母として奉職。平成 15 年秋から美浜町三尾の特別養護老人ホームときわ寮を経て、20 年4月から再び川辺園に勤務している。ことし7月からは 23 人の介護スタッフをまとめるリーダー、総括主任介護員となつた。

食事や入浴、排泄にいたるまで利用者の生活全般をサポートするのが仕事。常に献身的な態度で利用者の健康管理と介護に努めている。介護度の重い利用者が大半を占める特養では、利用者との意思疎通が困難で、利用者同士のトラブルも多い。そんな中、下垣さんは「根気のよい対応」を心がけ、分かり合えるまで身振り手振りで会話を続け、積極的なスキンシップと笑顔でコミュニケーションを図っている。これら長年培った豊富な経験と知識を生かした介護ぶりで利用者に親しまれ、全職員からも厚い信頼を集めている。

総括主任となってからは施設運営の面でもバックアップ、後輩の指導や職場環境の充実にも一層力を注いでいる。今回の受賞に際し「とても驚いています。みんな

のチームワークがないとやっていけない仕事。同僚や家族など多くの人々の協力に感謝しています。利用者の方々に、ここで暮らしていることに喜びを感じてもらえるように努めていきたい」と話している。

日高新報の記事より